

関係各位

一般社団法人 日本技術者連盟
会長 村上 雅人『東西ヨーロッパ防衛産業における技術・生産基盤の強靱化調査団』
派遣に伴うご案内

拝啓 時下益々ご清栄の段大慶に存じます。平素はご支援賜わり厚く御礼申し上げます。

2023年、日本政府は防衛産業を支援する生産基盤強化政策を閣議決定しました。防衛装備品の輸出を後押しするため、製品を海外向けに仕様変更するための費用などを、助成する基金を創設しました。

こうした状況を踏まえ本連盟では、日本の防衛産業とグローバルサプライチェーンの強靱化を支援するため、2024年3月に防衛装備庁前長官/防衛省顧問 土本 英樹 氏に団長としてお引き受け賜り、『訪米防衛産業とグローバルサプライチェーンの強靱化調査団』を派遣しました。2024年10月には、公益財団法人防衛基盤整備協会 理事長 鎌田 昭良 氏を中心に、『防衛産業とグローバルサプライチェーンの強靱化訪欧調査団』を派遣致しました。又、2025年3月には防衛装備庁前長官/防衛省顧問 深澤 雅貴 氏を中心に、『米国・カナダにおける防衛産業とグローバルサプライチェーンの強靱化調査団』を派遣致し、お蔭様で関係各国諸機関のご支援の下、多大な成果を修める事が出来たことをご報告申し上げます。

この度調査範囲を東西ヨーロッパに広げ、初代防衛装備庁長官であり、現在一般財団法人防衛技術協会 理事長の渡辺 秀明 氏に団長としてお引き受け賜り、標記調査団を派遣することとなりました。

趣旨・調査項目、日程等につきましては別添の参加要項をご覧ください、ご参加をお願い申し上げます。

ご参加頂ける場合は、一般社団法人日本技術者連盟事務局まで E-mail (gyomu1@jef-site.or.jp) にて、お申込みください。

お申込み方法の詳細については、参加要項のページをご覧ください。

尚、お申し込み締切は **2025年 7月 7日 (月)** まで と致します。皆様のご参加をお待ち申し上げます。

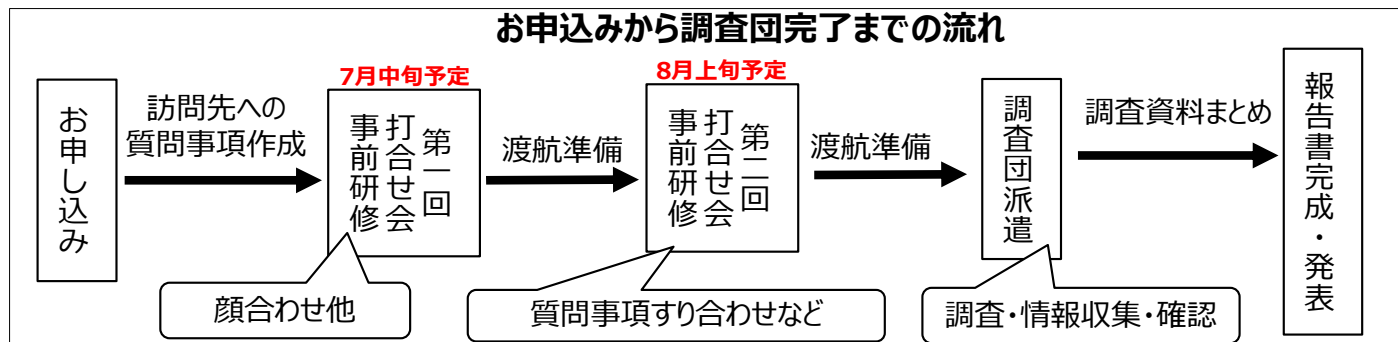
敬 具

※お申込みについて、稟議の都合上、締切日を過ぎる場合や参加者のご変更がございます場合には、お手数ですが事務局まで お問い合わせ下さい。

【海外調査団/視察団へ参加する意義とは】

海外へ行って、見てみる、感じてみる、(Go and See) 自社の世界のみならず他業界を含めて現場に行き体験したり、組織の中でどのような活動をしているのか、どのような切り口で付加価値を伴っているかを体験してみるのには大変有効であります。自分自身が理解していないことを理解するためにも必要な行動でもあります。また、参加団員の異業種間での相互の友好関係を通じて内外人脈の構築は調査団/視察団参加への大きな付加価値となるでしょう。

お申込みから調査団完了までの流れ



一般社団法人日本技術者連盟



〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号

TEL: 03-6229-1946 FAX: 03-6229-1940

E-mail: gyomu1@jef-site.or.jp

URL: <http://www.jef-site.or.jp>URL: <https://www.wkx21c.org>

『東西ヨーロッパ防衛産業における技術・生産基盤の強靱化調査団』

参加要項

1. テーマ：『東西ヨーロッパ防衛産業における技術・生産基盤の強靱化調査団』

2. 期 間： 2025年8月30日（土） ～ 9月7日（日） 9日間 予定

3. 主 催： 一般社団法人 日本技術者連盟（JEF）

4. 後 援：一般財団法人 防衛技術協会

公益財団法人 防衛基盤整備協会

5. 団 長： 渡辺 秀明（わたなべ ひであき）氏

一般財団法人防衛技術協会 理事長 工学博士



■ 来歴

1977年（昭和52年）3月 - 慶應義塾大学工学部卒業。
1979年（昭和54年）3月 - 慶應義塾大学大学院理工学研究科修士課程修了。
1979年（昭和54年）4月 - 防衛庁採用。
1979年（昭和54年）4月 - 防衛庁技術研究本部第1研究所 研究員。
1987年（昭和62年）3月 - 工学博士（慶應義塾大学）。
1987年（昭和62年）7月 - 防衛庁技術研究本部第2研究所 研究員。
1988年（昭和63年）7月 - 同 主任研究官。
1989年（平成 元年）4月 - 防衛庁装備局 通信課 部員。
1992年（平成 4年）4月 - 防衛庁技術研究本部 第2研究所 第2部電波2室長。
1996年（平成 8年）4月 - 防衛庁技術研究本部 企画部管理課5班長。
1997年（平成 9年）7月 - 防衛庁装備局 管理課通信、電子システム室長。
1999年（平成11年）7月 - 防衛庁技術研究本部 第2研究所 主任研究官。
1999年（平成11年）9月 - 防衛庁技術研究本部 総務部付。
2000年（平成12年）6月 - 防衛庁技術研究本部 企画部企画官。
2002年（平成14年）8月 - 防衛庁管理局 航空機通信電子課長。
2005年（平成17年）8月 - 防衛庁技術研究本部 第2研究所 第1部長。
2006年（平成18年）7月 - 防衛庁技術研究本部 電子装備研究所 システム研究部長。
2008年（平成20年）4月 - 防衛省技術研究本部 電子装備研究所 研究企画官。
2009年（平成21年）4月 - 防衛省技術研究本部 総務部長。
2011年（平成23年）8月 - 防衛省大臣官房技術監。
2013年（平成25年）9月 - 防衛省技術研究本部長。
2015年（平成27年）10月 - 防衛装備庁長官。
2017年（平成29年）7月 - 退官。
2017年（平成29年）9月 - 政策研究大学院大学政策研究センター 客員研究員。
2017年（平成29年）10月 - 一般財団法人リモート・センシング技術センター 技術参与。
2017年（平成29年）11月 - 多摩大学ルール形成戦略研究所 客員教授。
2018年（平成30年）8月 - SBIホールディングス株式会社 顧問
2022年（令和 4年）8月一般財団法人防衛技術協会理事長

6. 調査項目：（案）

- ①防衛装備技術に関する国際協力
- ②防衛基盤／生産基盤の強化と防衛産業イノベーション
- ③陸上・海上・航空分野におけるDX化
- ④防衛産業とサプライチェーンのグローバル化と強靱化
- ⑤中堅・中小企業及びスタートアップ企業の支援
- ⑥軍民両用（デュアルユース）の取り組みと技術革新
- ⑦サイバーセキュリティとリスク管理システム
- ⑧特に下記事項について

- ・ NATO/欧州防衛調達の今後の方向性と調達仕様
- ・ デュアルユース（民生技術→軍事転用）の事例
- ・ 製造工程のデジタル化（Digital Twin、IoT、防衛用 AI）
- ・ 日欧サプライチェーンの相互補完（特に部品供給・品質保証）

7. 訪問先概要：

<イタリア>

1) AIAD（イタリア航空宇宙・防衛・安全保障産業連盟）

- 所在地：ローマ Via Zazionale230
- 特徴：レオナルド社を中心に欧州連携強化を主導
- ・日伊英の共同戦闘機開発GCAP(Global Combat Air Programme)
- ・防衛産業の輸出/海外展開戦略

2) レオナルド社（Leonardo S.p.A.）

- 所在地：ローマ（本社）、トリノやネーブルスにも製造拠点
- 注目点：サイバー防衛、電子線、ヘリコプター（AWシリーズ）輸出

3) Italian Trade Agency / Ministry of Defense (ITA)

- 概要：イタリア政府の輸出促進機関、防衛省は調達・技術管理部門を持つ。
- 特徴：中東やアジアへの市場開拓支援も。
- ・JETROや在日イタリア大使館との連携実績あり。

4) Fincantieri S.p.A.

- 所在地：イタリア・トリエステ（ただし、ミラノにも重要拠点あり）
- 特徴
- ・欧州最大の造船企業の一つ
- ・防衛艦艇分野ではLeonardoと装備面で協業（例：Leonardo製センサー・電子戦システム搭載）

<ポーランド>

1) Polish Armaments Group (PGZ)

- 所在地：ワルシャワ
- 概要：ポーランド最大の国営防衛企業グループ（約60社で構成）。装甲車両、火砲、ミサイル、防空、航空機整備などをカバー。
- 特徴：NATO・EU加盟国として西側装備の導入・統合と、ウクライナ支援を背景に急速な近代化を推進。
- ・陸上自衛隊や防衛装備庁と技術情報交換・連携可能

2) AOBP (Polish Armaments Industry Chamber)

- 所在地：ワルシャワ
- 概要：民間および国営防衛企業の業界団体。企業間の連携促進と海外とのネットワーキングを支援。
- 特徴：中小企業を含む幅広いサプライヤーが加盟。輸出志向が強い。
- ・日本の商社・防衛産業とのマッチングに積極的。

3) MSPO - International Defense Industry Exhibition 2025

- 開催都市：ポーランド、キェルツェ
- 特徴：国際防衛産業展示会（MSPO）は、防衛産業の関係者や専門家向けの重要なイベントで、毎年開催されます。多国籍の企業や機関が参加し、防衛や安全に関する最新技術や製品が発表されるほか、関係構築の場ともなっています。また、大規模な契約が締結されることもあります。

<フィンランド>

1) フィンランド防衛省（Ministry of Defence of Finland）

- 所在地：Helsinki
- 概要：国防政策、防衛予算、防衛装備政策の立案・管理。近年ではNATOとの調整機能も重要視。防衛産業育成も担う。

2) フィンランド国防軍司令部（Finnish Defence Forces Headquarters）

- 所在地：Helsinki
- 概要：フィンランド国防軍（FDF: Finnish Defence Forces）は、国陸海空三軍を統括する組織で、防衛省（Ministry of Defence）のもとで独立して運用。NATO加盟により、欧州と北極圏の安全保障協力を強化。

3) フィンランド防衛産業関連工業会（AFDA: Association of Finnish Defence and Aerospace Industries）

- 所在地：Helsinki
- 概要：フィンランド防衛産業の代表団体。企業と政府間の調整、海外輸出、国際展示会（例：Eurosatory, DSEI）への参加支援などを実施。

4) その他

参加要項

8. 参加対象

防衛産業に携わる企業／団体／公的機関、また今後 防衛産業に参入する意思のある中堅・中小企業及びスタートアップ企業関係者の皆様。

9. 募集人員：15名

10. 参加費：¥1,950,000-（税別・お申込金 50万円が含まれております）

11. 通訳・プロジェクトマネージャー：全行程同行

12. ホテル：一人部屋

13. 総合事務局：株式会社アジア技術移転機構 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号 TEL: 03-6229-1950

14. 運営実施：株式会社 フレックスインターナショナル《観光庁長官登録旅行業第1306号》

15. 申込方法：最終ページの参加申込書に必要事項をご記入の上、以下の3点を添えて、 **2025年7月7日（月）までに**、E-mail（gyomu1@jef-site.or.jp）にてお申込み下さい。すぐに担当者より、ご連絡申し上げます。

- 参加者のパスポートの顔写真のついたページのカラーコピー
（パスポートを取得されていない場合は、取得予定日をお知らせください）
- 名刺のコピー（和文と英文）
- メンバーリスト作成用 顔写真のデータ（パスポート取得時のものでも結構です）

16. 代金支払：一般社団法人 日本技術者連盟の総合事務局、株式会社アジア技術移転機構より請求書をご送付申し上げます。 期日までにお振込み下さいますよう、お願い申し上げます。

※ 稟議の都合上お申込みが締切日を過ぎる場合や、参加者にご変更の可能性がございます場合には、お手数ですが日本技術者連盟（電話03-6229-1946）までお問い合わせ下さい。

※ 日程その他に変更が生じた場合には、参加要項に変更がありますことを予めご了承ください。



一般社団法人日本技術者連盟

〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号
TEL: 03-6229-1946 FAX:03-6229-1940
E-mail: gyomu1@jef-site.or.jp
URL: <http://www.jef-site.or.jp>
URL: <https://www.wkx21c.org>

『東西ヨーロッパ防衛産業における技術・生産基盤の強靱化調査団』

日程表 案



2025年8月30日（土）～9月7日（日） 9日間

日次	月・日・曜	都市名	交通機関	現地時間	スケジュール	食事
1	8/30 (土)	羽田発	AY 62	21:50	羽田国際空港 出発	機内食
2	8/31 (日)	ヘルシンキ着 ヘルシンキ発 ローマ/フィウミチーノ着	AY1761	04:40 07:20 09:45	ヘルシンキ経由 ローマ/フィウミチーノ国際空港 到着	機内食 昼 ○ 夕 ○
3	9/1 (月)				イタリア航空宇宙・防衛・安全保障産業連盟（AIAD）訪問 レオナルド社 訪問 Italian Trade Agency / Ministry of Defence (ITA)訪問	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
4	9/2 (火)	ローマ発 ミラノ着 ミラノ発 ワルシャワ着	列車 LO320	19 : 40 21 : 50	Fincantieri S.p.A.訪問	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
5	9/3 (水)	ワルシャワ発 キュルツ着	列車		MSPO2025 第33回International Defence Industry Exhibitio	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
6	9/4 (木)	ワルシャワ発 ヘルシンキ着	AY1146	19:10 21:30	Polish Armaments Group (PGZ) 訪問 Polish Armaments Industry Chamber (AOBP) 訪問	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
7	9/5 (金)				フィンランド防衛省 フィンランド国防軍司令部 フィンランド防衛産業関連工業会（AFDA） その他	朝 ○ 昼 ○ 夕 ○
8	9/6 (土)	ヘルシンキ発	AY 61	18:30	ヘルシンキ空港 出発	朝 ○ 昼 ○
9	9/7 (日)	羽田着		13:50	羽田国際空港 到着	機内食

※上記日程の記載内容は予定であり、訪問先を含め、今後変更になる場合があります。

AY: フィンエアー、LO: LOTポーランド航空

参加費に含まれるもの

I) 旅行上の諸費用

- 団体エコノミークラス航空運賃
- 燃油特別付加運賃、空港税等
- ホテル宿泊費（税・サービス料含む）
- 食事代（日程記載分。飲物は含まず）
- 現地陸上交通費（空港・ホテル・視察先への専用車代、ガイド代、列車代、チップ代等）
- 施設等見学費
- 団長、通訳、添乗員 同行費用

II) 現地諸機関折衝及び手配料

- 現地 手配費用
- 現地 事前打合せ出張等諸費用

III) 企画・運営業務費など

- 企画運営費及びコーディネート費
- ツアー管理費（リスク管理費を含む）
- 事前打合せ会/調査関連資料提供費
- 調査報告書作成費 他

参加費に含まれないもの

原則として左記以外は含まれません。その一部を例示します。

- 渡航手続き諸費用（旅券取得費用、渡航手続取扱料金等）
- 個人的経費（電話代、クリーニング代、チップ、飲み物代等）
- 集合時及び解散後の交通費
- 超過手荷物料金
- 任意の海外旅行傷害保険費用
- ご自身の障害・疾病に関する医療費

お客様のご都合によるキャンセル規定（特別キャンセル規定）

- お申し込み後、旅行開始日の前日から起算して31日目にあたる日までの取消料：**お申込金 50万円（税別）**及び航空券・宿泊料金などのキャンセル料の実費（旅行社等支払分）
- 旅行開始日の前日から起算して30日目に当たる日以降から旅行開始3日前までの取消料：参加費の50%、及び企画手配料10万円（税別）
- 旅行開始日の前々日以降の取消料：参加費全額

詳細は事務局までお問い合わせ下さい。

その他

◆参加費は、2024年2月末日時点の運賃及び8名以上の参加者数に準拠したものです。ご出発前に、参加人員や燃油特別付加運賃に大幅な変更があった場合、参加費用が変更になる可能性もございますので、予めご了承下さい。

参加における注意事項

I) 海外旅行保険について

ご出発前に、特に以下の点をご考慮の上、海外旅行保険にご加入頂けますよう、お願い申し上げます。

所属先企業としてご加入されている場合は、事前に補償内容についてのご確認をお願い致します。

- a. 提携病院の有無（あればその病院名、住所、通訳サービスの有無、医療費一時支払必要性の有無など）
- b. 飛行機が遅延した際の費用保障
- c. 保険会社名、保険加入番号、緊急時連絡先

II) パスポートとビザについて

訪問国がシェンゲン協定加盟国の場合、加盟国に入国する際に必要なパスポートの条件は以下となります。

- a. パスポートの残存期間が出国予定日から3か月以上
- b. 未使用査証欄が2ページ以上

またシェンゲン協定では「直近180日間における滞在期間が、最長90日までの場合、入国時ビザは必要ない」とされています。

訪問国が米国の場合、滞在期間に加えて6か月以上のパスポート残存有効期間が求められます。またビザあるいはビザ免除プログラムへの登録が必要となります。

その他の国の事情や詳細につきましては、事務局にお問い合わせください。

また事前打ち合わせ会でも、詳しくご説明する予定です。

一般社団法人日本技術者連盟 役員構成

会長	村上 雅人	大学共同利用機関法人情報・システム研究機構 監事、芝浦工業大学 元 学長、工学博士
顧問	野々内 隆	元 通商産業省資源エネルギー庁 長官元一般財団法人経済産業調査会 理事長
	斎藤 信男	慶應義塾大学 名誉教授 工学博士
	松井 一秋	一般財団法人エネルギー総合工学研究所 研究顧問
理事	井戸田 勲	一般社団法人日本技術者連盟 専務理事
	梶原 豊	高千穂大学 名誉教授 経営学博士
	浮舟 邦彦	学校法人滋慶学園 総長 Ph.D.
	内藤 香	元 公益財団法人核物質管理センター理事長
	林道 寛	元 国立研究開発法人日本原子力研究開発機構 バックエンド推進部門長

主催 : 一般社団法人日本技術者連盟 (Japan Engineers Federation : JEF)
総合事務局 : 株式会社アジア技術移転機構 (Asia Technology Transfer Organization, Inc. : ATTO)
〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号
TEL : 03-6229-1946 (JEF) / 03-6229-1950 (ATTO)

お申込日 年 月 日

『東西ヨーロッパ防衛産業における技術・生産基盤の強靱化調査団』
参加申込書

一般社団法人 日本技術者連盟（JEF） 行

フリガナ			
会社名・団体名			
所属名/役職名			
フリガナ		生年月日	西暦 年 月 日
参加者氏名			
パスポート記載名 (ローマ字 姓名)		英文表記名 (Mr. Ms. Dr. Ph.D.なども記載)	
E-mail		携帯電話番号	
勤務先	ご住所	〒 -	
	電話番号	FAX番号	
ご自宅	ご住所	〒 -	
	電話番号		
フリガナ			
担当責任者名 今回の参加について 状況をご存知の方	印		
所属名/役職名			
電話番号/E-mail			

旅券（パスポート）について：今回の旅行に必要な旅券をお持ちですか。（日本帰国日より3ヵ月以上の残存期間が必要）

① はい	旅券番号：	有効期限	西暦 年 月 日
② いいえ	取得予定日	年 月 日	

強いアレルギーなど ございますか	なし ・ あり （ ありの場合、対象物、アレルギーの程度を具体的にお知らせください	
語学力	英語について 問題あり・なし、TOEFL点数など ()	英語以外に、お使いになれる言語がございますか？ ()

通信欄 ご質問・ご希望等	マイルージをお持ちの方は番号をご記載ください（例 JAL 1234567、ANA 2345678 他）
-----------------	---

個人情報保護方針

旅行申込書にご記入いただく、氏名、年齢、生年月日、電話番号、メールアドレス、住所、勤務先等の情報は「個人情報」に該当しますので、企画主催・企画実施・取扱旅行社・総合事務局は以下に掲げる個人情報の取扱いに関する基本方針及び個人情報に関して適用される法令を遵守して、お客様に関する個人情報の適正な管理・利用と保護に万全を尽くします。

1. 個人情報保護利用の目的

お客様がお申し込みになられた運送、宿泊その他の旅行に関するサービス（以下「旅行サービス」といいます）を手配するために必要な範囲で情報を利用いたします。また、旅行サービス提供機関に対し、お客様の氏名、パスポート番号及び現地滞在先等をあらかじめ電子的方法等で送付することによって提供します。

2. 個人情報の開示・提供

下記の場合を除き、お客様からお預かりした個人情報を第三者に開示・提供いたしません。

ア. ご本人の同意がある場合

イ. 旅行サービス提供機関や販売店の手配業務委託先に、旅行サービス手配に必要な最小限の情報を開示・提供する場合。

ウ. 法的な命令等により個人情報の開示・提供が求められた場合。

3. 個人情報に関するご質問、又はご意見は、総合事務局にてお受けいたします。

企画主催：一般社団法人日本技術者連盟

<http://www.jef-site.or.jp> / <http://www.wkx21c.org> / E-mail : gyomu1@jef-site.or.jp

総合事務局：株式会社アジア技術移転機構

〒107-0052 東京都港区赤坂2-17-12 チュリス赤坂 1302号

TEL : 03-6229-1950

FAX : 03-6229-1940